

| | |
|---|---|
| 研究課題名 | Blood access挿入時の左内頸静脈による脱血不良発生率の検討 |
| 研究機関名 | 武蔵野赤十字病院 |
| 研究責任者 | 所属 救命救急科 氏名 村松 俊 |
| 研究期間 | (西暦) 2021年10月 ~ 2021年12月 |
| 研究の意義・目的 | ICU診療で循環動態の不安定さから持続透析療法を施行することは多い。その際に透析カテーテルを導入する部位としては、第1選択肢としては右内頸静脈であるが、第2選択肢としては左内頸静脈が挙げられる。しかしながら左内頸静脈からblood accessを入れる事では脱血不良率が高いことが言われている。日本麻酔科学会の指針上だと左内頸静脈から挿入したカテーテルは、血管壁と並行しなくてはならないと言われており、挿入部位はZoneAかZoneCに挿入するのが適切と考えられる。左内頸静脈にblood accessを挿入しなければならない場合にZoneAとZoneCどちらに挿入したら脱血不良率が低いのかを検討する。この研究を行うことで左内頸静脈にblood accessを入れる場合はどのZoneに挿入すれば良いかの指針ができる。。 |
| 研究の方法 (対象期間含む) | 方法:後ろ向き観察研究 対象期間・対象:2018年4月から2021年12月で当院搬送されてICU入室され持続透析療法施行した患者 調査項目: 主要評価項目 患者の診療録から年齢、性別、APACHE2分類、SAPSII分類、挿入部位、Zone、導入理由に関する情報を入手し、これらを用いる |
| ①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合 や他機関へ提供され る場合はその方法含 む) ②利用し、又は提供 する試料・情報の項 目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称 | ①後ろ向き観察研究であり、診療録より情報を収集し統計学的解析を行う ②調査項目: 主要評価項目 患者の診療録から年齢、性別、APACHE2分類、SAPSII分類、Zone、導入理由に関する情報を入手し、zone部位によるそれぞれの脱血不良率を主要評価項目とした。 ③救命救急科④救命救急科 村松 俊 |
| 問合せ先 | 当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 村松 俊 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525 |